

経営比較分析表（平成29年度決算）

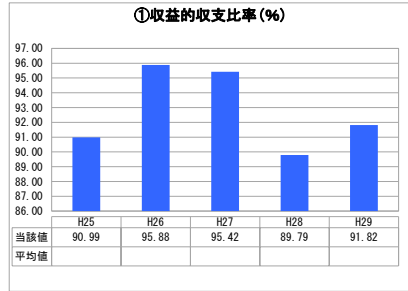
栃木県 益子町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	19.75	51.16	2,808

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
23,465	89.40	262.47
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,604	2.33	1,975.97

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



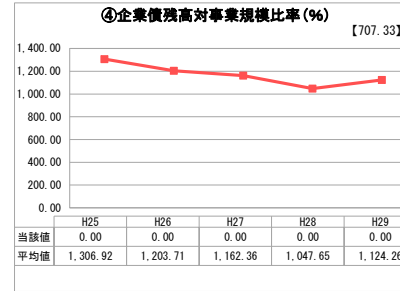
「単年度の収支」



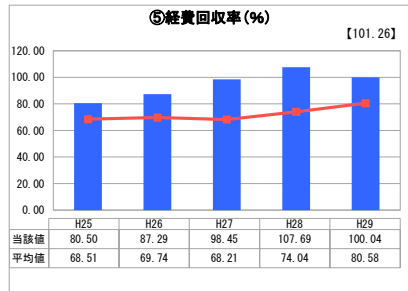
「累積欠損」



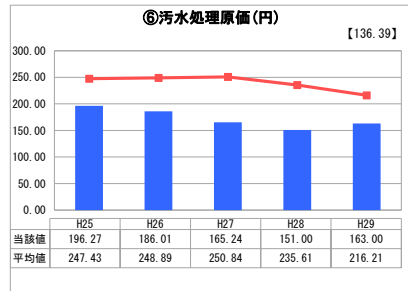
「支払能力」



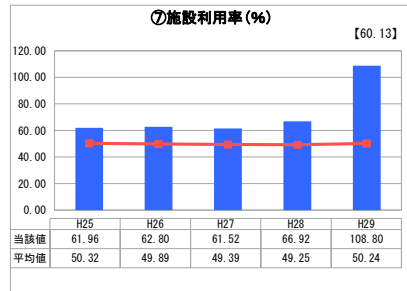
「債務残高」



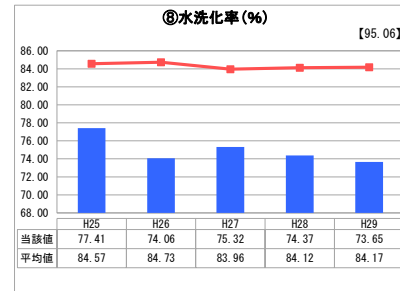
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

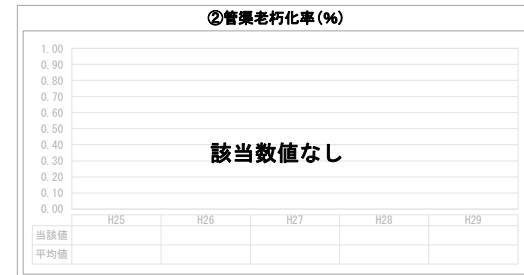


「使用料対象の捕捉」

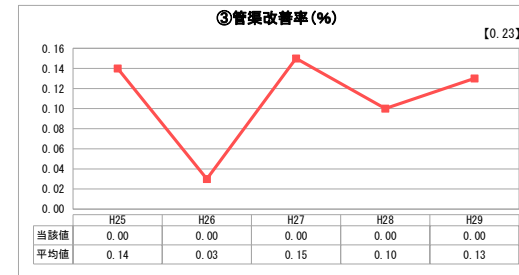
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率
100%を割り込んでいて単年度収支で赤字であり、一般会計からの繰入金に依存した経営となっている。引き続き経費削減、水洗化率を向上し、使用料の収入増を図っていく必要がある。
- ②累積欠損金比率
H25から0%である。しかし、今後も整備面積の拡大や処理場施設の増設など投資事業を実施するため、地方債の借入は増える見込みである。
- ③経費回収率
100%を超えており、汚水処理に係る費用を賅っている状況であるが、より健全な経営のため更なる経費削減や財源確保を図る。
- ④汚水処理原価
類似団体と比較すると低いものとなっている。しかし、今後処理場施設の増設や老朽化対策などの経費が見込まれることから、不明水対策を講じつつ、さらには接続率の向上により有収水量を増加させる取り組みなど経営改善の努力は継続していく。
- ⑤施設利用率
H28以前の状況と比較するとH29年度は吐出している。管路の不明水が原因と考えられるため、今後不明水対策を講じる。
- ⑥水洗化率
類似団体と比較すると低い状況である。今後も安定した維持管理等をするための貴重な財源確保のために、今後も水洗化の促進を図る。

2. 老朽化の状況について

今後、施設や管渠等の老朽化が進行していくことが想定されるため、ストックマネジメント計画をH30に策定し、計画的に処理場施設や機器、管路施設の点検調査を実施し、維持管理や更新に努めていく。

全体総括

経営の健全性・効率性の項目によっては、類似団体の平均値よりも数値が上回るなど評価できる面もあるが、収益的収支比率などは単年度で赤字が続き、又、水洗化率も平均値を下回っている。今後も経費削減や収入増など経営改善の努力は継続していく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。